

不登校、友達など市民が寸劇に

22日、早良区 平田オリザさん指導

劇作家で演出家の平田オリザさんの指導を受け「不登校」「友達」などを題材に創作した市民の寸劇が22日、福岡市早良区の早良市民センターである。福岡都市圏の母親などのでつくる市民団体「ふくおか教育を考える会協議会」が主催。平田さんの講演もある。

協議会は1976年に福岡市で発足し、今年が40周年。これまでに高校増設、私学への助成増額を求める請願活動などに取り組んできた。平田さんの演劇指導と講演は「演劇を通じて、異なる意見を一つに集約していく過程を学んでほしい」と企画したという。

市民から希望者を募り、7月に練習を開始。劇のテーマは参加者が決め、自らが希望する演目に取り組めるよう6グループに分かれた。脚本や演出も各グループで担当し、平田さんは当日までに4回福岡入りする。担当者は「答えの

演劇の本番に向けて、練習を重ねる市民たち



ない問題を取り上げる中で、出演者の中でも異なる考え方の違いを見てもらえれば」と話す。

当日は午後1時から演劇、午後3時から講演を行う。入場料は前売り1500円(中学生以下18歳は千円)。当日はいずれも500円増。協議会092(406)4125。